

白内障手術における DPC による包括支払制度の評価

〒113-8656 文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院工学系研究科教授

縄田和満

〒101-8439 千代田区一ツ橋 2-1-2

一橋大学大学院国際・公共政策大学院教授

井伊雅子

〒324-0011 栃木県大田原市北金丸 2600-1

国際医療福祉大学医療福祉学部教授

外山比南子

〒324-0011 栃木県大田原市北金丸 2600-1

国際医療福祉大学医療福祉学部教授

高橋泰

論文要旨

本論文では、白内障手術(DPC カテゴリーコード : 020110)における DPC 包括支払制度の評価を行った。使用したのは DPC 病院協議会において 2004 年 7 月～2005 年 9 月に収集された 1,225 人分の患者のデータである。患者の特性、主傷病名、副傷病・処置 2 の有無等の違いを考慮しても、平均在院日数が病院ごとに大きく異なる。このため、DPC による包括支払部分において 3.5 倍もの差が認められた。一方、出来高評価部分の差は比較的小さく、平均からの乖離は最大でも 1 割程度であった。このため、病院ごとの診療報酬のばらつきの主要部分は、診療報酬全体の 1/3 程度に過ぎない DPC による包括評価部分となっていることが認められた。この結果、医療資源の有効な活用のためには、制度の見直しにおいて、その傷病の特性を考慮することが必要であると強く示唆された。

キーワード : DPC, 包括支払制度, 白内障, 眼科手術, 在院日数